

総論

満点	100点	目標得点	70点	試験時間	80分	偏差値	薬:68 薬科:67
大問数	3	小問数	23				
	【解答形式】	選択式	8/23問	記述式	8/23問	論述式	7/23問
	【問題難易度】	C	2/23問	B	12/23問	A	9/23問
※問題難易度：C難問、B可否を分ける問題、A正答すべき問題、を示す							

Topics

- 1：【1】のソーザン・ソntagの長文は難しい。かなりの難語も含まれる。
- 2：前年はなかった英文和訳が5問出題された。
- 3：語彙問題が多い。語義だけでなく派生語にも注意が必要。

こんな力が求められる！

※慶應の問題と聞くと他大学より長く難しい印象はあるが、実際にはさほど難しくない。

1. 大問【I】の長文に関しては例外である。語数は700文字を少し越える程度だが、とにかく単語が難しい。特に、慶應の薬学部ということもあり、医療関係の単語はかなり高いレベルのものであっても注釈はつかないものが多いので、それらの単語は周知のものとして扱われる。医療関係以外の単語においても難しいものが少なくないので、相当は語彙力を持っている受験生であっても、まず【I】の長文を完全に理解するのは不可能である。しかし、時間的に余裕があるので、難しいながらも、それなりに時間をかけることができるのも確かである。また、ある程度一般的だと認識されている病気に関しては、その病気の特徴や他の病気との違いなども周知なものとして扱われるので、日頃から医療関係の新聞記事やニュースを絶えずチェックしておく必要がある。しかし、長文自体を読み解く難易度に比べ、問題の難易度が低いので、文章全体が読めなくても、十分に得点を稼げる問題が多い。ポイントは、知らない単語や推測が全くできない単語があっても気にせず、とにかく、文章全体の大まかな主旨を把握し、問題を解くことに集中できれば、かなりの高得点を得ることが可能だと思われる。言い換えれば、細部までしっかりと理解しようとするが故に主旨を把握できず、文章自体の難しさに惑わされてしまう受験生には、解くべき問題までも難しいものに思えてしまう可能性が大きい。そのような受験生はその段階で合格はできないと思われる。
2. 大問の【II】と【III】の長文に関しては、いずれも300字前後で、語彙レベル、文法レベルなど、全てのレベルにおいて簡単である。お茶ゼミの高3Adのテキストの長文を毎回しっかりとこなしていれば十分に対応できるものである。また、試験時間にも余裕があるため、【II】と【III】の長文を解く際には速読力もあまり必要とされない。逆に言うてしまうと、慶應の薬学部に合格する受験生の中ではここでは差がつかない。できて当然の問題である。

参考図書

- 【1】のみ Susan Sontag の著書(下記参考)
『死の装具』(早川書房・1970年)
『隠喩としての病い』(みすず書房・1982年)
『エイズとその隠喩』(みすず書房・1990年)

大問別分析

【I】

予想配点	60 / 100 点	時間配分の目安	50 / 80 分
出題内容	発音・英作文・文法&語彙・長文&会話文 [Word数] 714 語 [『でか単』『完熟』レベル] 『でか単』『完熟』共に PART 2～3 [長文テーマ] 医療 [長文内容] なぜガンは他の病気と違い偏見的な扱いを受けるのか		
出題形式	《長文》空欄補充(選択)、和訳、同意語句、内容説明、要旨、語句整序		
小問別難易度	C (難問): 2)の(a)(d) B (合否を分ける問題): 1)の(1)(2), 2)の(b)(c), 3), 5), 6) A (正答すべき問題): 1)の(3), 2)の(e)(f), 4)の(1)(2)(3)		
お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連	文法レベルは Advanced レベルをマスターしていれば十分。 長文自体は Advanced レベルでは足りず OS レベルを必要とする。		

●解答のポイント&学習対策等

内容

完全に医療系[薬学系]であり、その分野の背景知識が必要になる。

解答のポイント

長文で使用されている語彙のレベルはかなり高く、医療系の単語も多いため、かなり読みにくい。しかし、設問は文のレベルと比べるとかなり解きやすい。従って、難しい単語が出てきても、読みにくい文であっても、細部にこだわらず、大まかな主旨を捉えることで解答できる設問もかなりある。

学習対策

- ①上記の内容と重複するが、日ごろから知らない単語が多い文章、読みにくい文章であっても、一文一文 [細部]の意味にこだわらず、文章の主旨はどのようなことかを考えながら設問を解くことが必要である。
- ②医療系の単語が多く出題されているので、この分野の単語を強化しておく必要がある。

【II】

予想配点	25 / 100 点	時間配分の目安	15 / 80 分
出題内容	語句整序、和訳 [Word数] 302 語 [『でか単』『完熟』レベル] 『でか単』『完熟』共に PART 1～2 [長文テーマ] 児童労働の定義 [長文内容] 児童労働の利点と弊害について		
出題形式	《長文》語句整序、和訳		
小問別難易度	C (難問): なし B (合否を分ける問題): 1), 2)の(2) A (正答すべき問題): 2)の(1)		
お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連	長文レベル、文法レベル、共に Advanced レベルをマスターしていれば十分 文法的に入り組んだ短文の和訳の単元が特に役立つ		

●解答のポイント&学習対策等

内容

児童の労働の定義や、その利点と弊害に焦点を当てた文章であり、ある程度なじみのある内容である。ま

Benesse® お茶の水ゼミナール

た、長文、単語、文法、全てにおいてあまり難しくはない。

解答のポイント

- ①語句整序に関しては、少し解きにくい点もあるが、文法(特に単語の品詞)を意識し、理論立てて文を構成することでできれば、まず問題無い。
- ②和訳に関しては、和訳すべき文自体は短くないが、その文を構成しているのは基本的な文法である。具体的には、人称代名詞や指示代名詞が何を指しているか、等位接続詞が文法的に何と何をつないでいるかを見抜ければ、決して解きにくい問題ではない。

学習対策

この長文においては、速読力よりもむしろ文法力が試されるので、日ごろから文法的にある程度入り組んだ短文の和訳や並び替えに重点を置いた勉強をしていくことが一番の対策になる。

【Ⅲ】

予想配点 15 / 100 点	時間配分の目安 10 / 80 分
出題内容 空欄補充(選択) 〔Word 数〕 281 語 〔『でか単』『完熟』レベル〕 『でか単』『完熟』 共に PART 1 ~ 2 〔長文テーマ〕 80 歳の日系アメリカ人からのメール 〔長文内容〕 80 歳の日系アメリカ人が自分の人生を振り返り、日本とアメリカを比較	
出題形式 《長文》空欄補充(選択)	
小問別難易度 C (難問): なし B (合否を分ける問題): (2), (3), (5) A (正答すべき問題): (1), (4)	
お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連 長文レベル、文法レベル、共に Advanced レベルをマスターしていれば十分	

●解答のポイント&学習対策等

内容

日系アメリカ人が書いたメールであり、自己の人生を振り返り、日本とアメリカを比較した文章である

解答のポイント

何問か語彙が難しいものもあるが、空欄の前後関係を意識しながら文章を読んでいくことができれば問題ない。

学習対策

長文を読む際に、接続詞、副詞といった前後関係のキーとなる単語を意識することが必要である。また、設問の選択肢に難しい単語があっても気にせず、完璧な解答を選ぼうとせず、消去法で設問を解いていく能力が必要である。